

愛知学院大学大学院 歯学研究科

人材養成の目的

歯学研究科は、「行学一体・報恩感謝」の精神に則り、学部における教育の基礎の上に高度にして深遠な歯科医学の専門的知識と技術を修得し、臨床歯科医学の実践を通して人類の福祉に貢献すると共に、医学・生命科学の深奥を究めて文化の創造・発展に寄与することのできる良識ある人材の育成に努める。

博士課程

アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

学部教育を通して修得した素養に基づいて、高度な専門的学術の理論とその応用を研究し、広い視野と深い専門分野への造詣を備えた研究者・医療人へと成長しようとする意欲ある学生を求める。併せて本学設立の趣旨である仏教精神、特に禅的教養を基にした「行学一体」の人格形成に努め、「報恩感謝」の生活ができる社会人として、広く世の各界に寄与し、人類の福祉と文化の発展に貢献しようとする学生の入学を期待する。

上記に加えて、学部教育修了後、一定の社会経験を有し、その経験に基づいてより高度な研究者・医療人へと成長しようとする意欲ある社会人の入学も期待する。

カリキュラムポリシー(教育課程編成方針)

専門分野について深い研究を行い得る研究者の養成に加え、優れた研究能力等を備えた医療系人材の養成が求められているという社会の実情を鑑み、相互の連携を保つように配慮された以下の二つの教育課程を設定し、大学院学生に選択履修させる。

- (1) 高度な専門的学術の理論とその応用能力を身に付け、それらを更に発展させるために必要とされる研究能力を修得する課程
- (2) 臨床歯科医として専門分野に関する高度の知識と技能を修得し、それらを更に発展させるために必要とされる研究能力に加えて、患者を対象とする高度の臨床研究を遂行しうる能力を修得する課程

いずれの課程にあっても、体系的な教育を提供するという課程制大学院の趣旨を尊重し、コースワークの充実等、組織的な教育課程の編成に努める。

ディプロマポリシー(学位授与方針)

課程修了にあたって修得しておくべき学習成果は以下の通りである。

- (1) 専攻する領域についての深い学識とその応用力
- (2) 専攻する領域についての研究を更に進展させるために必要とされる自立的研究能力と共に多領域の専門家と協同して研究を遂行できる基礎的学識

(3) 患者を対象とする臨床研究に従事するものにあつては、専門領域における高い臨床能力と共に、倫理面にも配慮した臨床研究の遂行能力

以上の学習成果を修得し、専攻分野における新知見を提示して、将来、高度な研究活動または専門的業務に従事しうると判定されたものに授与する。